

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	リエブラッツ武蔵野（児童発達支援）			
○保護者評価実施期間	2026年 2月12 日		～	2026年 2月 26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38人	(回答者数)	13人
○従業者評価実施期間	2026年1月7日		～	2026年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が行われている	事業所の特徴でもありますが、児童指導員、療法士とが多職種連携をし活動内容を考えております。専門性を高めるため社内でのブラッツ勉強会やその他の研修にも取り組んでいます。	職員の更なる質の向上のために勉強会や研修に取り組んでいきたいと思っています。
2	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されている	こども達が活動に見通しを持ち安心して活動に参加できるプログラムになっています。安心した環境の中で新しいことにチャレンジできるように工夫しています。	より計画的に幅広い経験や深い学びの場が提供できるようスタッフ一同で力を合わせて取り組んでいきたいと思っています。
3	日頃からこどもの状況を保護者と伝えあい、こどもの健康や発達の状況についても共通理解ができている	日々の療育後のフィードバックやサービス提供記録、定期的な面談で保護者にお子さま状況をお伝えしております。	保護者、主の所属先、他事業所と連携しこども達に関わる人たちとの共通理解を深めていきたいと思っています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母会の活動支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか、またきょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなどきょうだいへの支援がされているか	保護者同士の交流する機会が少なく、きょうだい向けのイベントを開催しておりません。すべての曜日のプログラムが決まっており、時間を作ることが難しい状態です。	参加しやすい曜日や時間帯、参加してみたい内容など、保護者の意向を取り入れ、様々な方法を試していきたいと思っています。
2	事業所では非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか	訓練の実施について周知が足りていない。	訓練での子どもたちの様子や課題などの気づきをその都度保護者と共有していきたいと思っています。